



多賀町多賀にあります「多賀大社」。ここでは、毎年「節分祭」が開催されます。節分では豆をまきますので、その豆にかけまして、少し節分の豆知識を紹介させていただきます。

節分は「季節の分かれ目」という意味で二十四節気の「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を言います。特に江戸時代以降は立春の前日を節分として、さまざまな行事を行うようになりました。節分の「豆



## ■ 多賀大社の節分祭（多賀町）

# 還暦の奉仕者が豆まき



昨年の節分祭の豆まきの様子＝いずれも多賀町多賀の多賀大社で

まき」は「追儺」と呼ばれ、もたらす悪い鬼（悪霊）を元々は大陸から伝わった風習です。追儺の行事は、俗に「鬼やらい」や「厄落とら」などと呼ばれ、疫病を

追ひ払う儀式として宮中で行われたのが始まりと伝えられています。

今年の立春は2月3日。



このことから今年の多賀大社での節分祭は2月2日に執り行われます。節分祭に先立つ30分前、神様の前にて祭儀が行われ、宮司の祝詞奏上の後、今年還暦を迎えられたいわゆる「年男」「年女」が、「厄よけ福豆」「厄よけ福餅」を拝殿前に特設された舞台から奉仕されます。

今年の奉仕者は午前、午後合わせて約1200人。境内は終日福を求める数千人の参拝者で賑わい、翌日2月3日には「立春大吉」の

春を迎えます。

節分祭当日は、特設舞台上にて島根県因原地方の鬼の舞が奉納され、社頭では福豆とともに災難除けの「厄神斎」のお札が授与されます。皆さん、2月2日はぜひとも多賀大社「節分祭」にお越しください。

（多賀観光協会・宮野由紀 絵）



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

◇ 【開催日時】2月2日午前11時と午後2時、多賀大社で。

【アクセス情報】近江鉄道多賀大社前駅から徒歩10分。車は名神高速道路彦根インターチェンジ（IC）から10分、湖東三山スマートICから15分、多賀スマートIC下りから5分。多賀観光協会 ☎0749（48）15533